

**みやぎNPO夢ファンド(A)人材育成支援プログラム
平成18年度助成事業 最終報告書**

書式4

平成19年2月15日

団体名	特定非営利活動法人 ふあるま・ねっと・みやぎ		
事業名	医薬品と保健的食品の適切な使用を支援するための出前講座担当講師の養成		
連絡担当者お名前(ふりがな)	富永 敦子(とみなが あつこ)		
担当者 電話	090-9030-9216	FAX	022-271-7190
E-Mail	tominaga@ma.mni.ne.jp		
<p>助成金を使って行った研修事業について、具体的にご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)</p> <p>講師養成研修の実施</p> <p>研修会は4回行った。第1回と2回は、主に保健的食品の「素材の科学情報」について、内部講師による研修を、第3回と4回は外部講師による「特別講演会」およびミニシンポジウム、テーマ・ディスカッションを行い参加型の研修を目指した。</p> <p>第1回 7月23日(日)14:00~16:30</p> <p>1. 保健的食品素材の情報</p> <p>1-1. アガリクス 金田 早苗 1-2. ノコギリヤシ 及川 雪子 1-3. ロイヤルゼリー 富永 敦子</p> <p>2. 専門分野から 食薬は食薬.....和食のすばらしさ.....現代食薬研究所 木村 寿男氏</p> <p>3. 話題をめぐって インゲン 戸田 絃子</p> <p>第2回 8月27日(日)14:00~16:30</p> <p>1. 保健的食品素材の情報</p> <p>1-1. プロポリス 戸田 絃子 1-2. アシタバ 今野 勇 1-3. ニンニク 櫻井 裕子</p> <p>2. 専門分野から 食中毒について 山形大学医学部教授 北目 文郎氏</p> <p>3. 話題をめぐって デトックスについて 鈴木 洋子</p>			

助成金を使って行った研修事業について、ご記入ください。(続き)

第3回

9月23日(土) 14:00~16:30

1. 特別講演会

「健康食品・サプリメントの科学的活用とは？」

北海道大学病院薬剤部 井関 健氏

2. ミニシンポジウム

「薬剤師が遭遇する健康食品問題」

...情報と商品をめぐって... (調剤薬局薬剤師、薬局薬剤師から発表)

コーディネーター 戸田 紘子

第4回

11月5日(日) 14:00~16:30

1. 特別講演会

「健康食品と安全情報

~医療現場での健康食品への対応についての調査結果と東京都の取り組み~

東京都福祉保健局健康安全室薬事監視課 監視計画係 小澤 康子 氏

2. テーマ・ディスカッション

「健康食品」の情報の収集について~健康被害回避にむけて~

コーディネーター 戸田 紘子

1) コーディネーターからの話題提供

~情報の送り手の責任と役割~

2) ディスカッション

~健康被害回避のためにできること~

EBM, EBN, EBH におけるエビデンスのレベルについて

素材の情報(エビデンス)と商品の情報について

健康被害回避のための情報提供

素材、商品および健康被害につながる情報の収集について

平成19年1月~2月

4回継続して受講した参加者に修了証の発行

出前講座講師としての心構えやルールについて説明

当初の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください。

申請書に記載した成果目標	目標の達成度・団体に与えた効果
<p>内部講師による研修のほかに、外部講師による研修を行い、受講生のレベルアップを図り出前講座の講師の数を増やす。現在出前講座を務めたことのある講師は4名だが、今後15人くらいに増やし、積極的に講演を行っていききたい。</p> <p>受講生の意欲を高めるためにも魅力あるテーマと外部講師招聘が効果的であると考え</p> <p>る。</p>	<p>外部講師による研修成果</p> <p>第3回と4回は外部講師による特別講演会を開催した。初めての著名外部講師の講演であったので、通常の研修会とは異なる知識や刺激を得ることができた。第3回は北海道大学院薬学研究院教授 北海道大学病院薬剤部長の井関健氏を外部講師として招き、健康被害防止のために薬剤師が何をすべきかについて、先生の研究成果に基づいた話しを聴くことができた。通常の受講者の他に病院薬剤師の参加が多く、参加者50名であった。活発な討論もおこなわれた。</p> <p>受講者のレベルアップ</p> <p>第1回と2回の「素材の科学的情報」の講義では、ひとつのフォームにまとめて資料を配布しており、好評であった。第3回の特別講演では、講師が主宰する「あるたな」研究会の情報交換もでき、情報紙「あるたな」を配布できた。第4回の特別講演では、健康食品行政として日本で最も先進的な東京都の取り組みの紹介と資料をいただいた。豊富な資料を得てより一層のレベルアップにつながったと考えている。</p> <p>参加者はのべ113名であった。4回継続しての受講生は7名。</p>

達成できない部分があった場合には、
考えられる原因や、解決に向けて必要なことをお書きください。

当初、今回の研修により10名程度の講師養成を見込んでいたが、全4回を終了した受講者は7名であった。予想より少ない人数ではあったが、諸事情により3回しか出席できなかった受講者が7名おり、薬剤師という専門性に加えて前年度の研修会にも継続的に参加しているので、これら3回受講者も出前講座の講師として考慮にいれたい。今後実際の出前講座の進め方などについてさらに研修をおこない講師スタッフとして養成していきたいと考えている。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

今後の予定

保健的食品に起因する健康被害を防ぐため仙台市内での出前講座だけでなく、宮城県内へ広げていくことを企画し、食品と医薬品についての正確な情報と適切な利用法を広く提供し、地域の人々の健康な生活を応援していきたいと考えている。さらに、子供や若者向けの情報提供の必要性も強く感じており、資金不足という問題点はあるが、出版事業にも力を入れていきたいと考えている。

また、不適切な情報や宣伝方法に目をくばり、健康被害に結びつく事例収集をおこなうプロジェクト「薬食ビジラン・P-net」を立ち上げた。今後はホームページの充実を図り、一般の方からも協力をいただきながら情報を収集し、提供していきたい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	150,000	150,000	
参加費	36,000	29,700	会員 200円x42 非会員300円x71
自己負担金	14,000	29,343	
合計	200,000	209,043	

支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
講師謝金	80,000	70,000	講演講師 30,000 x 2 講義講師（外部） 5,000 x 2
講師交通費	58,000	97,000	札幌50,000 東京25,000 山形他5,000x2 仙台3,000x4
会場費	36,000	16,000	戦災復興記念館 4回
事務通信費	16,000	18,543	案内状、送料他
雑費	10,000	7,500	駐車料他
合計	200,000	209,043	